

松本礼子

わたし

雨が降る

花が咲く

猫がのびをする

蛇が花壇をすり抜けていった

たまげた

日が暮れる

まだ雨は降っている

土のなかで種はどんなだろう

空豆を茹でながら

雨音に耳を澄ます

湯気があがる

時間がわたしを生きている